

国際ロータリー第 2790 地区 2019-20 諸岡靖彦ガバナー年度
研修三委員会（ロータリー研修・理念研究・RLI 推進）企画・運営

『地区先達と語る「私のロータリー」の集い』

2019 年 11 月 10 日（日）千葉スカイウインドウズ東天紅 23 階

講演者： パストガバナー（1988-89 年度地区ガバナー）土屋 亮平 様

第 13 グループ 松戸ロータリークラブ

プ ロ グ ラ ム

12:30 登録開始

13:00	司会・開会挨拶	理念研究委員	笠原 智（成田 RC）
	開会点鐘	ロータリー研修委員長	PDG 寺嶋 哲生（柏 RC）
	ロータリーソング斉唱	奉仕の理想	
	参加者ご紹介		
	ガバナー挨拶	地区ガバナー	諸岡 靖彦（成田 RC）
	主催委員長挨拶	ロータリー研修委員長	PDG 寺嶋 哲生（柏 RC）
	開催主旨説明	理念研究委員長	海寶 勘一（千葉西 RC）
	講演者のご紹介	理念研究委員	森田 雅久（松戸 RC）
	一部 講演 「私のロータリー」 前編	PDG 土屋 亮平 様（松戸 RC）	
	二部 シンポジウム 参加者と語りあう「私のロータリー」		
	三部 講演 「私のロータリー」 後編	PDG 土屋 亮平 様（松戸 RC）	
	謝辞	ロータリー研修委員長	PDG 寺嶋 哲生（柏 RC）
	閉会挨拶	理念研究委員	石橋 菊太郎（成田 RC）
15:45	閉会点鐘	ロータリー研修委員長	PDG 寺嶋 哲生（柏 RC）

（敬称略）

土屋亮平パストガバナー 略歴

住所 千葉県松戸市千駄堀 1825 番地
生年月日 1931 年 8 月 30 日生
所属クラブ 松戸ロータリークラブ
職業分類 貸ビル業

ロータリー歴

1963年 松戸ロータリークラブ入会
1985-86 年度 クラブ会長
1987-88 年度 国際ロータリー第 2790 地区第 12 分区 分区代理
1988-89 年度 国際ロータリー第 2790 地区 地区ガバナー
1989 年度 国際ロータリー国際大会（ソウル）副 SAA
1994 年度 国際ロータリー国際大会（台北）副 SAA
1995-96 年度 国際ロータリー第 2780 地区 会長代理
1998 年度 規定審議会 代表議員
2007-08 年度 国際ロータリー第 3520 地区 会長代理
ポールハリスフェロー
米山功労者

経歴 1956 年 慶應義塾大学 法学部 卒業
札幌アルト株式会社 代表取締役
公益財団法人 土屋文化振興財団 理事長
株式会社 ザ・マンハッタン 代表取締役会長

趣味 写真・ゴルフ

（記載 松戸ロータリークラブ）

『地区先達と語る『私のロータリー』の集い』

講演者 PDG 土屋亮平様 (松戸 RC)

第 2790 地区 研修委員会 RLI 推進委員会 理念研究委員会

講演の要点

前編

1・私のロータリー

- ・ロータリーは学ぶものでなく、生き方を会得する場
- ・私のロータリー観を形成

2・松戸クラブの創立経緯と入会をしてから

- ・ロータリーの師である神守源一郎バストガバナーとの出会い
- ・大切な「ロータリーの綱領」
- ・職業奉仕を理解する

3・人生の師匠となる佐藤千壽バストガバナーとのであいと感化

- ・ロータリアンとして、職業人として考える

4・韓国 CKO 元 RI 理事とのであい

- ・「奉仕の理想」と「人が生きると云うこと」の素晴らしい関係
- ・詩の内容から奉仕の理想を読み解く

後編

1・私のロータリー

- ・ロータリーの友誌からロータリーを読み解く重要さ

2・ロータリアンは初心に還る

- ・原点に戻り「綱領」を再確認すること
- ・社会奉仕に関する決議 23-34 議案について

人が生きると云う事

人が生きると云う事は

誰かに借りを作る事

その借りを返していく事

誰かにして貰った様に

誰かにしてあげる事

人が生きると云う事は

誰かと手を繋ぐ事

その手の温もりを忘れないで行く事

巡り合い、愛し合い別れた後に

悔やまない様

今日、明日を生きよう

人は一人で生きて行けない

人は一人で歩んで行けない

この詩は、近年亡くなった 永 六輔 氏の詩と聴きました。 —〔作詩者、永 六輔 氏〕—